



### Comme des Garçons TIE

パリのコムデギャルソンで2010年に買ったレジメンタルタイ。ディスプレイの中でも決して目立つ存在ではなかったが、逆にこの控えめなルックがセルゲイ氏のアンテナに掛かり、ワードローブに加わった



### Thom Browne SHIRT

アメリカントラッドをベースにしたトム・ブラウンのコレクションでも、アイコン的存在であるシャツ。セルゲイ氏がパリで2年前に手に入れたもので、ストライプが目立たないところが気に入って買ったという



### Omega Sea Master 1952

ラグジュアリー感と堅牢性を併せ持つ、ヴィンテージのシーマスター。ドレスウォッチとしての風格があり、視認性も申し分ない。セルゲイ氏と同じ1952年生まれという縁で、現在もルーチンで活躍する



### Thom Browne SLACKS

世界各国で人気が高まっているトム・ブラウンだが、このスリムなシルエットに魅了され2013年にベルリンで手に入れた。現在では何本もストックするセルゲイ氏だが、トム・ブラウンのパンツとしては最初買ったもの



### Ralph Lauren TIEPIN

2009年頃に友人からギフトとしてプレゼントされたもの。シンプルなフォルムとさりげなさが気に入って頻度高く使用されている。セルゲイ氏の着こなしにかかると存在感のあるアクセサリに変わる

### Kitsuné JACKET

パリを拠点に多彩なクリエイター活動を展開。マサヤ・クロキ氏がファッション・ディレクターを務める「Kitsuné」のシアサッカージャケット。コペンハーゲンで購入。サイズとシェイプがパーフェクトと絶賛する



### Ralph Lauren LEATHER SHOES

一見すると重厚感があり、履き疲れしそうな雰囲気ではあるが実際はとても快適なフィッティング。セルゲイ氏に「恐らくこれを履いていれば何マイルだって歩ける」と言わしめるほど完成度が高い



夏のアイビーはナチュラルな素材を合わせると季節に映える  
「私のアイビースタイルのアイコンはジャズのサクソフォーン奏者であるデクスター・ゴードンだ。その昔、スタイリングがあまり上手くなかったマイルスの服を彼が見立てていたという逸話があるくらい、今見ても実にアイビィ的な着こなしがうまい人だと思っね。彼の影響もあって私はタイをしっかり締めることが多いけれど、夏の暑い日にはあまりにコンサバティブなアイビィは馴染まない。ナチュラルな素材を合わせた方が、暑くて色鮮やかな夏に適していると思うよ。少し肩の力を抜いたり、ゾート感などを加味するとい。ただ、あまり主張が強すぎるのは趣味ではない。年齢的なことを意識するわけではなく、最近ではデザインがあまりデコラティブでなかったり、さり気ないものをチョイスする傾向にはあるね。プティックに足を運んでも、私物を選ぶ時は、デザインのインパクトがあるものより、なぜか控えめな方が目に飛び込んきたりもする。スタイリングについてもバランスは重視しながら、トータルではシンプルにまとめていく方向に気持ちが傾いているのかもしれない。アイビィに長くこだわっていると、そういうメンタル的な変革期もおもしろいと思えるようになる。アイビィは奥が深いから、ある程度の年齢になったら一旦自分のスタイルをゼロにリセットして、再起動してみるのも楽しいんじゃないかな。アイビィに限らず、流行に左右されるファッションは「生学習が続く。それを楽しむことがアイビィの着こなしを到達させると思っ」

# 60's

SERGEI SVIATCHENKO  
age 60 / ARTIST, EDITOR, Close Up  
& Private FOUNDER

PROFILE ●セルゲイ・スヴィアチenko / 1952年生まれ。ウクライナ出身。建築家を経て、コンテンポラリー・アーティストに転向。現在イタリアとオランダで展開する Faceless という展示でジュンヤ・ワタナベ、メゾン・マルタン・マルジェラと共に作品を発表